

人権問題をもっと身近に

更生保護事業功労者の表彰

ホテル熊本テルサで昨年11月22日、「平成28年度熊本県更生保護事業功労者顕彰式」が開催され、菊池地区保護司会大津町分会より保護司の佐藤建二さんが、法務大臣表彰を受けられました。

保護司は、犯罪を犯した人の立ち直りを支えるとともに、青少年の非行予防に尽力するなどの活動を行っており、更生保護によって地域社会に大きく貢献しています。



法務大臣表彰を受けられた佐藤建二さん

人権問題の取り組みに尽力

人権擁護委員の退任・就任

これまで長きに渡り、さまざまな人権問題に取り組み、人権思想の普及のため尽力いただいた伊東祐紀さん、阪田良一さん、玉永多水子さんの3人が1月1日付けで人権擁護委員を退任しました。そして、法務大臣からこれまでの活躍に対して、感謝状が贈呈されました。また後任には、樋口良久さん、岩尾昭徳さん、松本晴美さんの3人が就任しました。



左から玉永多水子さん、阪田良一さん、伊東祐紀さん
ありがとうございました

誰にでもできる防災を

歌うママさん防災士・体験型防災セミナー

高尾野公民館で昨年12月29日、テレビなどで活躍中の歌うママさん防災士・柳原志保さんの体験型防災セミナーが行われ地域の皆さん、防災士など約40人が参加。

東日本大震災、平成28年熊本地震を経験した柳原さんの災害に対する姿勢、備えなどの話と同じ災害を経験した参加者たちは大きくうなずきながら熱心に耳を傾けていました。



いつ起こるかわからない災害に対する心構えと具体的な対処法を経験とママ目線からわかりやすくお話しする柳原さん

無病息災を祈る伝承行事

東小校区どんどこや会

東小学校区で1月8日、どんどこやが開催されました。これは東小学校区の有志の皆さんが組織する「どんどこや実行委員会」が主催で子どもたちに地域を愛してもらえたいと行っているものです。

小雨の降る中、田んぼの中に組まれた櫓に点火すると瞬間に炎になり、竹の燃える時の大きな音に参加者たちは歓声をあげ、今年一年の健康を祈っていました。



火に驚きながら地元消防団員とどんどこやに点火をする子どもたち

American Post

アメリカンポスト

CIR (国際交流員) : マシュー・サイバート

VALENTINE'S DAY

早いもので、2017年に入り、もう2月になります。2月と言えば、非常に短い月であり、またアメリカではとても愛を感じる月です。また、アメリカの2月の唯一の祝日は、多くの人が敬意を表す日です。それは、President's Dayと呼ばれ、これまでの大統領たちを記念する日となっています。

そしてもう1つ、2月には Valentine's Day がありますね。聖バレンタインは実在の人で、カトリック教会の聖人です。人々はこの日を、大きなハートやキャンディー、ピンクや赤など色とりどりのフリル、また愛の矢で男女をくっつけるキューピッドなどを連想します。これらは幻想的なイメージですが、実際には、気になっている人にチョコレートやキャンディーを渡し、愛(時に感謝)を告白する日です！もちろん、数が多すぎないように気をつけなければなりませんね。普通は、男性がチョコレートと花(赤いバラが多い)を特別な人に渡します。これはアメリカでの大人の場合ですね。学校などでは少し気を付ける必要があります。例えば、5歳の子どものを傷つけないように、すべての生徒にチョコレートを与えるのか、誰にも渡さないのかです。まあ、それにしても、Valentine's Day には重大な責任を負わないといけませんね。

日本でのトレンドは私にとってとても嬉しいことです。チョコレートを渡す相手を選ぶのは難しい仕事です！しかし、日本では、チョコレートを渡す相手を選ぶのは女性です。私も日本で、素敵な女性からキャンディーやチョコレートなどを貰えるかもしれません！期待しても良いですか？



中身はなんでしょう？

わたしたち

大津町地域おこし協力隊

です



町で活躍する大津町地域おこし協力隊の活動をレポート形式でご紹介します。今月は齋藤剛司さん。

皆さんこんにちは！地域おこし協力隊の齋藤です。私が関東から大津に移住する際、友人たちから「九州は暖かくていいね」と言われてきたのですが熊本がこんなに寒いとは！住んでみないと分からないものですね。でもきりっとした空気を通して見える阿蘇の山並みから毎朝元気をもらっています。

さて今回は私の任務「6次産業の発展」についてお話をさせていただきます。6次産業とは、1次産業に従事する農(林・水産)業生産者が主体となって生産物の加工(2次産業)から流通販売(3次産業)まで業務展開する事を指します。どんな得があるの？という点ですが、例えば農家の皆さんが大根を今まで1本100円で販売していたものを、自分たちで大根の沢庵にして200円で売れば、利益が増える事になります(もちろん加工する費用はかかりますが)。普段日々の作業で忙しい農家の皆さんに代わって、少しでも役に立つ情報をお届けしようと活動をしています。そのような中、昨年末から同じ協力隊の渡部さんと共に町の特産物であるからいもを裏ごししたペーストを作り、町外の食品関連企業に向けて販促活動や大阪での県主催の特産品見本市に出展をしています。ペーストの試食をして頂き、味の感想や加工品としての可能性を聞き取り、その結果をからいも農家の皆さんにお伝えすることで大津の農家の皆さんが次の一歩を踏み出す参考になればと考えています。大津町の未来の為に今年も頑張ります。



県産業技術センターでのペースト加工